

名古屋市立柴田小学校での出前講座実施報告書



1) 講座の様子

名古屋自然保護官事務所では、6月26日(月)に名古屋市立柴田小学校、5年生1クラス(26名)を対象に出前講座を実施しました。

講座の狙いは、身近な環境問題についての関心を高めることを目的とし、藤前干潟の特徴や生息する生きもの、問題点などを学ぶということでした。まず干潟の仕組みと生息する生き物について話した後、干潟保全の経緯と国際的に重要な湿地としてラムサール条約登録湿地になったことを紹介しました。そして現在、藤前干潟が抱える環境問題として、漂着ゴミの問題を紹介し、中でも新たな海洋ゴミ問題としてマイクロプラスチックについて紹介しました。その他に、干潟を紹介するDVDの鑑賞や干潟の砂泥に触れてもらったり、シジミによる水質浄化実験を行いました。最後に、干潟に棲むカニの観察を行い、干潟という特徴的な環境に適応した体のつくりを学びました。

柴田小学校は南区にあり、藤前干潟を知る児童は多かったのですが、実際に来たことがある児童は1名のみでした。今後は、機会があれば藤前干潟に来て生きものの様子を間近で見たり、生きものを傷つけているゴミの存在を意識して日々行動するなど、一人一人が環境問題解決に向けてできることを考えていくきっかけになればと思います。



*出前講座の様子 1



*出前講座の様子 2

2) 講座の内容

テーマ：藤前干潟－生きものたちと自然環境

1. 干潟ってなんだろう？
干潟の仕組み・成立ち（砂泥の観察）
2. どんな生きものがいるの？
シジミの浄化実験
底生生物と鳥類の紹介
3. 藤前干潟の歴史
4. 藤前干潟の問題
漂着ゴミとマイクロプラスチック
5. カニの観察・質問タイム

3) 実施概要

実施日：平成29年6月26日（月）9:45～11:35

場所：名古屋市立柴田小学校（南区）

対象：小学校5年生（1クラス、26名）、

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

※出前講座については、名古屋自然保護官事務所（TEL：052-389-2877）までお問い合わせください。

2017年6月30日
名古屋自然保護官事務所
アクティブ・レンジャー 吉塚藍